

会員通信 / 会員ギャラリー / 会員著作物紹介 /
七大学情報 / 同窓会案内 / 学士会だより 他

NU7

National University Seven

国立七大学の総合情報誌

2023.3 No.46

七大学情報

令和5年七大学
卒業式・入学式日程

講演録

世界認識と日本の針路

～コロナ、ウクライナ危機の先にあるもの

一般財団法人日本総合研究所会長 / 多摩大学学長・寺島実郎

2022年10月1日(土) 北海道講演会@オンライン

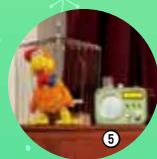
学 士 会

学生会館で過ごす クリスマスが 帰ってきました



学生会伝統のイベント「クリスマス家族会」は、コロナ禍のため2019年の開催を最後に中止が続いておりましたが、2022年12月24日(土)、3年ぶりに開催することができました。

今回は定員を大幅に減らしての開催となったほか、恒例のショーも「60分間一言も話さない摩訶不思議なマジックショー」と、コロナ禍にふさわしい?クリスマス家族会となりました。



- ①⑥⑨クリスマスメニューには、学生会館開館当初から大切に受け継いできた「金のカトラリー」を使用。
 ②201号室ロビーに設置された記念撮影スポット。
 ③④⑤2022年のイベントは「ジン・マサフスキーのサイレント・コメディ・マジック」、60分間一言も話さない摩訶不思議なマジックショーです。
 ④⑦⑧学生会館の主要なお部屋、201号室・201号室ロビー・202号室・210号室を使用して開催しました。

学生会公式サイト・SNSにて他の写真も公開中!



公式サイト



Facebook



Instagram

令和5年七大学卒業式・入学式日程

今春も、七大学で卒業式と入学式が開催されます。
ご家族、ご親戚、お知り合いで、今春七大学を卒業される方や入学される方が
いらっしゃいましたら、ぜひ学士会をお勧めください。

令和4年度卒業式

大学	日程	会場
北海道大学	3月23日(木)	第一体育館(学部)／第二体育館(大学院)
	水産学部 3月24日(金)	フォーポイントバイシェラトン函館 3階「カメラ」
東北大学	3月24日(金)	ゼビオアリーナ仙台
東京大学	大学院 3月23日(木)	安田講堂(卒業生)／ 御殿下記念館ジムナジウム(ご家族等、映像中継)
	学部 3月24日(金)	
名古屋大学	3月27日(月)	豊田講堂
京都大学	3月24日(金)	京都市勤業館みやこめっせ 第3展示場(卒業生)／ 第2展示場(ご家族等、映像中継)
大阪大学	3月23日(木)	大阪城ホール
九州大学	3月20日(月)	椎木講堂

令和5年度入学式

大学	日程	会場
北海道大学	4月6日(木)	札幌コンベンションセンター
東北大学	4月5日(水)	ゼビオアリーナ仙台
東京大学	4月12日(水)	日本武道館
名古屋大学	4月5日(水)	豊田講堂
京都大学	4月7日(金)	京都市勤業館みやこめっせ 第3展示場(新入生)／ 第2展示場(ご家族等、映像中継)
大阪大学	4月4日(火)	大阪城ホール
九州大学	4月5日(水)	椎木講堂

※2023年1月20日現在。新型コロナウイルス感染症等により、日程が変更となる場合があります。
※すべての式典で、インターネット中継または映像配信の予定があります。
※詳細、最新情報は各大学公式サイトをご確認ください。Facebookにて各大学の
ご案内ページへのリンクをまとめておりますので、右記QRコードからご参照ください。



令和5年 七大学卒業式・入学式日程

7 LECTURE	北海道講演会 「世界認識と日本の針路 ～コロナ、ウクライナ危機の先にあるもの」	03
	寺島 実郎（一般財団法人日本総合研究所会長／多摩大学学長）	

7 UNIV.	七大学情報	11
	七大学生協書籍ランキング 36	

7 ALUMNI	同窓会案内・開催報告	17
----------	------------	----

7 MEMBERS	会員通信	22
	会員活動報告・会員著作物紹介	

7 NEWS	学生会・学生会館だより	30
--------	-------------	----

7 STAFFs	編集委員コラム	38
----------	---------	----

JOIN US!	学生会の紹介	表4
----------	--------	----



表紙写真・大塚富則 会員（東大・法・昭48）

場所：名古屋市農業センター

北海道講演会

開催日：2022年10月1日（土）

形態：オンライン（Zoom ウェビナー）

世界認識と日本の針路 ～コロナ、ウクライナ危機の先にあるもの

一般財団法人日本総合研究所会長／多摩大学学長 てらしま じつろう
寺島 実郎

自己紹介

私は父の仕事の関係で北海道の炭
鉱町の沼田町で生まれ、白糠^{しらぬが}、筑豊^{ちくほう}、
芦別^{あしべつ}で過ごした後、小学5年生の
ときに札幌に移りました。幌西小学^{こうさい}
校、啓明中学校、札幌旭丘高校と、
多感な時期を札幌で過ごしました。

時代認識

人生の舵取りも組織の運営も、的
確な時代認識なしには成功しません
が、それにはデータの裏づけが不可
欠です。本日の講演内容を裏づける
データは、『寺島実郎の時代認識』
(2022年秋号)に収録されています。

ロシアの弱体化

2022年2月24日、ロシアがウ
クライナに侵攻し、7月8日、安倍
元首相が暗殺されました。私たちは
世界史の転換点に立っているようで

す。その潮流のひとつがロシアの弱
体化です。

ロシアは世界にある約1万2,000
発（推定）の戦略核の約半分を握る
核大国ですが、通常兵器の技術が高
くありません。それが現在のロシア
の苦戦の原因です。

今回の侵攻ではロシア経済の脆弱
さも露呈しました。ロシアは資源と
エネルギーは豊富ですが、技術力は
極めて劣化した産業小国です。

侵攻前の2021年、ロシアの
GDPは世界11位でしたが、侵攻
後は欧米の経済制裁により、産業も
国民生活も疲弊しています。しかも
今後、ロシアに新規投資し、連携を
求める西側先進国はありません。今
年（2022年）7月の国際通貨基金
(IMF)の発表によれば、ロシアの
今年の実質GDP成長率の予想は
-6%です。

プーチンが合理性のない戦争に踏
み切った背景には自国の弱体化への

いらだちがあるので、今後、核カードを切る可能性すらあります。今やロシアは「大きな北朝鮮」です。

ウクライナ危機については、TOKYO MX テレビ「寺島実郎の世界を知る力」(第3・第4日曜日午前11時～11時55分)で詳しく取り上げています。YouTube見逃し配信もあるのでご覧ください。

コロナの1000日

2022年10月1日現在、新型コロナウイルスによる死者は全世界で約655万人、日本で4万4,000人です。

1918～1920年に大流行したスペイン風邪の死者は全世界で4,000万人超(推定)でした。当時の内地(今の日本の国土)の人口5,500万人のうち42万人が死亡し、外地(台湾・朝鮮半島・樺太などの植民地)では29万人が死亡しました。ところが、当時の新聞を見るとパニックは起きていません。

理由のひとつは無知です。1930年代に電子顕微鏡が開発されるまで、誰もウイルスの存在を知らず、「スペイン風邪のウイルスは鳥インフルエンザウイルスの変異」と特定されたのは1995年でした。

もうひとつは時代の空気です。日本は当時、第一次世界大戦の戦勝国の一員としてパリ講和会議に乗り込んでいて、東京では提灯行列が行わ

れていました。新興の植民地帝国に変容する転換点で、国民は高揚していたのです。

危機感の欠如

私は約20年前から、経団連の若手役員を対象とした研修の講師を務めています。コロナ前、私は研修のたびに「日本を取り巻く環境は厳しさを増している。危機感を持つように」と忠告しましたが、なかなか実感されない状況でした。当時はアベノミクスが好景気を演出していたからです。ところが、今年(2022年)に入って参加者の顔色が変わりました。

21世紀の20年、日本経済の実体

○マクロ認識

・日本の埋没

1820年、日本が世界のGDPに占める比重は3%で、アメリカの2%より大きい値でした。日本を除くアジアの比重は56%でした。

1913年も1950年も日本の比重は3%でしたが、高度成長後の1988年、16%になりました。ピークは1994年の17.9%でした。

2000年、日本の比重は14%に減りましたが、日本を除くアジアの比重は7%だったので、日本は依然アジア一の経済大国でした。

しかし2021年、日本の比重は5.1%に減り、日本を除くアジアの

比重は25%に増えました。日本はこの21年で埋没したのです。しかし、日本の指導層は今も、日本はアジアの経済大国だと思ひ込んでいます。健全な危機感を持つことが大事です。

・GDP目標の甘さ

2021年、菅首相が「2050年カーボンニュートラル実現」と「2030年温室効果ガス46%削減(2013年比)」を打ち出し、それに基づいて「第6次エネルギー基本計画」が発表されました。

私は約20年前からエネルギー計画の策定に参画しているので、会議の席上「46%削減は、2030年度の日本の名目GDPをいくらと見積もっての話か」と尋ねました。すると、内閣府から「663兆円」という数字が提示されました。エネルギー計画は経済産業省が主導するものなのに、官邸の数字が先行し、結論ありきで決定されていたのです。

2012年末に始まったアベノミクスは「2020年度の名目GDPを600兆円にする」ことを目指しまし

たが、結局536兆円で終わりました。それを思うと、「2030年度の名目GDPを663兆円にする」ことを漠然と目指しても達成は困難でしょう。

今後8年間で名目GDPを127兆円増やす方法を考えると、相当真剣に考えねばなりません。

エネルギー戦略は国家の技術力を左右するので、アメリカもロシアも中国も次世代原発の開発に舵を切りました。しかし、日本は脱原発・反原発に囚われ、原子力工学の人材が枯渇しはじめています。国は責任を持って原子力の技術基盤を維持すべきです。

○セミマクロ認識～産業動向(資料1)

日本の産業力はこの20年で約2割圧縮しました。

○ミクロ認識～国民生活(資料2)

現金給与総額も全世帯消費支出も、この20年で約10%減少しました。

分野別で見ると、食費、光熱・通信費は増えましたが、こづかい・交際費、教育・娯楽費、衣住関連費は

資料1 セミマクロ認識 …産業動向(2000年→2020年比)

粗鋼生産	エチレン生産	国内自動車生産	国内自動車販売	一次エネルギー供給
▲21.9%	▲22.0%	▲20.4%	▲22.9%	▲21%



約2割
圧縮

(出典) 経済産業省「生産動態統計」等

(参考) 発電電力量は
2010年度比▲12.9%

資料2 ミクロ認識 …国民生活（『経世済民』）

○現金給与総額 2000年：593.8万円→2021年：546.7万円 ▲7.9%
 （注）ピーク：[1997年] 612.3万円 [ピーク比▲10.7%]

○全世帯消費支出 2000年：31.7万円/月→2021年：27.9万円/月 ▲12.0%
 （注）ピーク：[1993年] 33.5万円 [ピーク比▲16.7%]

○分野別消費支出（2000年→2021年の変化）

<プラス項目>

【光熱・通信】	+ 11.8%
【食】	+ 7.8%

<マイナス項目>

【こづかい・交際費】	▲ 50.8%
【衣】	▲ 47.5%

【教育・娯楽】	▲ 22.9%
【住】	▲ 8.8%

（出典）総務省 家計調査

資料3 流通業（20年間の店舗数の変化）

	2000年前後	2021年
百貨店	394（1999年）	189
ショッピングセンター	2,658（1999年）	3,169
コンビニエンスストア	38,274（2000年）	55,950

・店舗数のピーク：1999年
 ・売上高のピーク：1990年

（出典）日本ショッピングセンター協会「SCデータ」等

減少しました。

教育費の減少は、仕送りの急減が大きく影響しています。今、全国の大学が急速に地域大学化しています。小樽商科大学は、昔は下宿生が多かったのに、今は大半が札幌や小樽からの通学生です。早慶などの私立大学も7~8割が首都圏からの通学生です。

教育関係者は「日本の貧困化」といいますが、私はそうとも限らないと思います。私たちが子供の頃、日本は今より貧乏でしたが、親たちは必死に子供を都会の大学に送り出しました。子供の向こうに希望が見えたからです。しかし、今は夢が見え

なくなってしまったのではないでしょう。

衣住関連費の減少についていうと、ユニクロやニトリはこの20年で売上を十数倍にしています。その裏には売上が10分の1に減った企業があるはずなので、「衣と住の分野では勝ち組と負け組に二極化した」ということでしょう。

○流通業の変化（資料3）

百貨店が激減し、コンビニとショッピングセンターが増えました。駅前商店街がシャッター街になり、郊外にモールが出現したのです。その結果、地方では買い物難民になら

資料4 情報・文化産業の20年間の変化

	2000年	2021年	
新聞発行部数（一般紙）	4,740 万部	3,066 万部	・一般紙のピーク：[2001年] 4,756 万部 ・スポーツ紙を含む発行部数のピーク： [1997年] 5,377 万部
	2000年	2020年	
書店数	21,495 店	11,024 店	・ピーク：[1988年] 28,216 店
書籍 推定販売金額	約 9,992 億円	約 6,804 億円	・ピーク：[1996年] 約 1 兆 931 億円
雑誌 推定販売金額	約 1 兆 4,104 億円	約 5,276 億円	・ピーク：[1997年] 約 1 兆 5,644 億円

(出典) 日本新聞協会 等

ないように軽自動車の保有が増えました。

○情報・活字文化（資料4）

活字文化はこの20年間で急速に衰退しました。これが時代の空気に大きく影響しています。

新聞の価値は全体感にあります。私は九段下に約8万冊の蔵書を有する「寺島文庫」という拠点を構え、さまざまな資料を収集しています。収集資料のひとつ、真珠湾攻撃の翌日の全米各地の新聞を見ると、真珠湾の報道のされ方以上に興味深いのが新聞広告です。そこに同時代の空気が色濃く表れているのです。

ところが、今はSNSの検索エンジンから入るので、入手する情報は断片的です。安倍元総理の暗殺はその最たる例で、犯人はSNSを駆使し、拳銃の作り方から安倍元総理の動向まで検索するうちにマニアックな情報回路にはまりこみ、急速に視野を狭めていきました。これは戦前

の右翼のテロとは全く異質で、極めて現代的です。

私たちは膨大な情報にさらされているようで、実は検索エンジンのために情報が非常に偏り、思わぬところに連れていかれます。

○対米貿易のシェア減少

対米貿易が日本の貿易総額に占める割合は、1980年頃は約4割でしたが、1990年に27.4%に減少し、2011年には11.9%に下がりました。

その後、好調なアメリカ経済に支えられて15%台に回復しましたが、コロナ禍の2020年以降、再び減少に転じました。

○対中貿易のシェア拡大

対中貿易（中国本土）は1990年頃の3.5%から年々増加し、2007年に対米貿易を追い抜き、2009年には20%を超えました。

さらにいうと、2021年の対中貿易の比重は22.9%ですが、香港と

マカオを含めると 25.3% になり、シンガポールも含めると 32.9% になります（大中華圏）。

一方、同年の対アジア貿易の比重は 53.2% で、10 年後には 6 割を超えると予想されます。

日本人の多くは「軍事面でも経済安全保障面でも、日米で連携して中国を封じ込めればよい」と考えていますが、経済の現場では大中華圏への依存が深まっています。このバラバラ感が日本の危うさのひとつです。詳しくは、拙著『大中華圏 ネットワーク型世界観から中国の本質に迫る』（NHK 出版）をご一読ください。

アジアダイナミズムと日本海物流

米中対立といいますが、2021 年の米中貿易の総額（6,574 億ドル）は日米貿易（2,101 億ドル）の約 3.1 倍です。大中華圏で考えると、米中貿易（8,708 億ドル）は日米貿

易の約 4.1 倍です。

注意すべきは、米中貿易の主力物流が日本海と津軽海峡を通ることです。太平洋を通るより、航行日数を約 2 日短縮できるのです。

その結果、日本の港では山形県の酒田港が 3.11 後の仙台港の物流も取り込み、2005～2020 年に外貨コンテナ取扱量の増加率が最も大きかったのです。

コンテナ取扱量が多い世界港（資料 5）を見ると、太平洋側の空洞化が明らかです。1970 年代に世界 1 位と 2 位だった横浜港と神戸港は 69 位と 70 位に転落し、日本の港で最上位の東京港でも 43 位です。一方で、大中華圏の港がトップ 10 に入っています。このアジアダイナミズムとどう向き合っていくかが、今後の日本の成長戦略の鍵です。

ヒントのひとつが台湾です。台湾の GDP はロシアの 44% で、「九州

資料 5 2020 年世界港湾ランキング（コンテナ取扱量：TEU）→太平洋側港湾の空洞化

20 年	19	18	17	16	20 年	19	18	17	16	20 年	19	18	17	16
1	1	1	1	1	8	9	10	11	10	：	：	：	：	：
上海 ★					天津 ★					：	：	：	：	：
2	2	2	2	2	9	8	7	5	6	43	38	27	28	31
シンガポール ★					香港 ★					東京				
3	3	3	4	4	10	10	9	9	10	：	：	：	：	：
寧波-舟山 ★					ロサンゼルス/ロングビーチ					：	：	：	：	：
4	4	4	3	3	11	11	12	12	12	69	60	58	53	57
深圳 ★					ロッテルダム					横浜				
5	5	6	7	7	12	12	11	10	9	70	66	64	54	55
広州 ★					ドバイ					神戸				
6	7	8	8	8	13	13	13	13	11	73	67	68	60	59
青島 ★					ポートケラン					名古屋				
7	6	5	6	5	：	：	：	：	：	78	79	77	72	83
釜山										大阪				

注：★…「大中華圏」、ポートケラン：マレーシア、19・18・17・16 の欄はそれぞれ 19 年・18 年・17 年・16 年のランキング

（参考：1980 年時）ニューヨーク：1 位、神戸：4 位、横浜：13 位、東京：18 位、大阪：39 位、名古屋：46 位

*注目すべき釜山のハブ化：「釜山トランスシップ」の増加

（出典）ロイズリスト 等



「+四国+中国地方」の合計に匹敵します。台湾はかつて日本の OEM (Original Equipment Manufacturing/委託者ブランド製造) の島でしたが、立場は逆転しつつあることに気づくべきです。

国際社会でどう振る舞うべきか

日本人は「権威主義 vs. 自由主義」という色分けで世界を見ますが、間違いです。グローバルサウス (Global South/グローバル化によって負の影響を受ける地域や住民の総称) やピンクタイド (Pink Tide/ラテンアメリカにおいて左派政権が続くことによる地域の左傾化) という言葉がいわれはじめてるように、世界は多極化しています。

また、日本人は「日本は G7 に加わって日米連携していればよい」と考えがちですが、そんなに単純ではありません。アメリカは世界をまとめる理念と存在感を失いつつあり、ロシアも急速に弱体化しています。

中国も周囲の中華圏から距離をおかれ、前途多難です。一方で、イスラエル、イラン、トルコなどの地域パワーが力をつけています。

今後、日本にとって ASEAN 諸国が重要性を増します。彼らを味方につけるだけのレジティマシー (正当性) を身につけることが重要です。

21 世紀の日本産業の針路

戦後の日本人は松下幸之助、本田宗一郎らの産業人を尊敬し、松下氏の経済思想 (PHP/Peace and Happiness through Prosperity、繁栄によって平和と幸福を) を信奉し、工業生産力モデルを成功させました。

その後、日本が埋没しはじめる「イノベーション」といいはじめましたが、菅政権の「DX とグリーン」も岸田政権の「新しい資本主義」も薄っぺらな内容です。

本気でイノベーションを目指すなら、鍵は「総合エンジニアリング力」です。日本の経済人の多くは、

新型コロナの国産ワクチン開発の遅れと国産ジェット機 MRJ（三菱リージョナルジェット）の挫折に大きな衝撃を受けましたが、どちらも原因は総合エンジニアリング力の欠如でした。

日本人は部品や素材などの要素技術に長けていますが、大事なのは完成品を作ること、それには政治力を含めた課題解決能力が必要です。それが総合エンジニアリング力です。

もうひとつの鍵が、国家のレジリエンス（耐久力）です。これはウクライナ危機でも試されています。

日本は今後、レジリエンスの強化を目指し、①食と農、②医療・防災、③文化・教育において、ファンダメンタルズの産業基盤強化をすべきです。

①食と農

戦後の日本は工業生産に特化し、

食料を輸入に頼った結果、自給率が38%に低下しました。アメリカは130%、欧州主要国もほぼ100%、最も低いイギリスでも60%以上です。少なくとも日本も70%まで戻すべきです。

②医療・防災

私がお会長のを務める日本総研では、国交省と組み、全国の「道の駅」を防災拠点にする構想の実現を目指しています。

③文化・教育

経済安全保障の議論には逆行しますが、私はヨーロッパの「エラスムス構想」（EUにおいて学生の流動化を促進する構想）に倣い、日中韓の大学の単位互換協定の実現を目指しています（キャンパス・アジア構想）。

PROFILE



1973年早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了。同年三井物産株式会社入社。2006年同常務執行役員、財団法人日本総合研究所会長。2009年株式会社三井物産戦略研究所会長、多摩大学学長。2014年一般社団法人寺島文庫代表理事。2016年一般財団法人日本総合研究所会長。現在に至る。

新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、ご案内のイベントも変更となる可能性がございます。最新情報は、各 Web サイトからご確認ください（PC ご使用の方は、タイトル等でご検索ください）。

北海道大学

<https://www.hokudai.ac.jp/>

報 告

水産学部附属練習船うしお丸Ⅱ世 最終出港式が挙行されました

2022年10月7日（金）、函館市の弁天地区埠頭にて挙行されました。うしお丸Ⅱ世は1992年9月の就航から30年間にわたり、主に噴火湾、津軽海峡、道東太平洋沖合、知床沖など北海道周辺の沿岸域での海洋観測（水温・塩分・海流・採水・プランクトンなど）に関する実習や研究等に従事しました。11月4日（金）には、後継となるうしお丸Ⅲ世の竣工披露式が挙行されました。

第25回ソウル大学校-北海道大学 ジョイントシンポジウムが開催されました

北海道大学の戦略的国際連携先である韓国ソウル大学校（SNU）との第25回ジョイントシンポジウムが、11月10日（木）・11日（金）の2日間、SNU冠岳キャンパスで開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う2年間のオンライン開催を経て、対面を主としたハイブリッド形式で開催されることとなった今回は、同シンポジウムの25周年を迎え、両校の長期的かつ継続的な連携を振り返り、次の半世紀に向けた連携可能性を見据える機会となりました。

イワナゲノム解析によるイワナ 亜種の判別と分布境界 の決定に成功しました



北海道大学大学院地球環境科学研究院准教授・小泉逸郎氏らの共同研究グループは、ゲノム網羅的（ゲノムワイド）な多型解析により、本州の河川源流に生息するイワナ亜種の判別と分布境界の決定に成功しました。これにより、各亜種の生息域は分水嶺を挟んで隣接しており、分布境界では地形変化による亜種間の分布拡大のせめぎ合いが起きていることが判明し、魚類在来個体群の自然分布から地形形成史を紐解くことができる可能性が提示されました。

イワナは泳ぐ前にあくびを することが発見されました



北海道大学大学院水産科学院博士後期課程3年の山田寛之氏と同大学院水産科学研究院教授・和田哲氏は、北海道に生息するイワナの稚魚が頻繁にあくびをすることを発見し、稚魚のあくびが着底行動から遊泳行動への行動変化が起こる直前に集中していることを明らかにしました。霊長類をはじめとする内温動物では、あくびが行動変化に先立ち起こることが従来から知られていますが、外温動物である魚類では、これまで逸話的な観察記録しかなく知見に乏しい状態でした。本

研究の成果は、あくびの状態変化仮説を魚類で実証した世界初の研究です。

北海道大学の映像シリーズ「知のフィールド」第7弾が公開されました



映像シリーズ「知のフィールド」の第7弾「海、森、川 つながる世界で」では、研究者や学生たちのインタビューとともに

、厚岸臨海実験所の施設と研究を紹介します。厚岸臨海実験所は、寒流系海洋生物を主な研究対象とする日本で唯一の亜寒帯臨海実験所として1931年に設立されました。観光名所・愛冠岬^{あいかつぶ}の断崖下にあり、国定公園内という自然環境の中で海洋生態系の幅広い研究と教育に取り組んでいます。

東 北 大 学

<https://www.tohoku.ac.jp/>

報 告 知

技術者のための医学・医工学教育プログラム2023年度受講者募集



東北大学大学院医工学研究科では、2019年度より新たな社会人教育事業「技術者のための医学・医工学教育 EMBEE (Education of Medicine and Biomedical Engineering for Engineers)」を実施しています。

[東京出張講義]

5月13日(土)～2024年2月10日(土)

形 態 ハイブリッド

場 所 日本橋ライフサイエンスビルディング またはオンライン

[実習] 9月9日(土)・10日(日)

場 所 東北大学青葉山東キャンパス・星陵キャンパス

申込期日 4月20日(木)

※詳細はQRコードからご確認ください。

報 告

Åkerman Bengt Johan 氏に東北大学プロフェッサー、ユニバーシティ・リサーチ・リードの称号が授与されました



同称号は、世界レベルでの顕著な研究業績等を有する研究者を雇用したうえで称号を授与し、その活動を支援することで、世界と伍する研究大学を目指す東北

大学の研究活動の活性化を図り、国際社会の発展に貢献することを目的としています。Åkerman Bengt Johan 氏はスピントロニクス分野で高名な研究者の一人で、特に高周波で動作する発振素子とその同期制御および通信デバイス、脳型計算機への応用において顕著な業績を挙げており、1月1日付けで東北大学教授に着任、同称号授与者第1号となりました。

東北大学グリーン未来創造機構にグリーンクロステック研究センターが設置されました



1月1日(日)、国立大学最大級のサイエンスパーク整備に向けて、グリーン分野における新たな産学共創の場を形成する目的で設置されました。同センターは、グリーン分野関連企業との産学共創を通じ、次世代放射光施設などの最先端施設により取得される各種ビッグデータの分析・利用に基づく研究の推進ならびに当該研究の成果の社会実装に関する企画と立案を行います。

東北大学教員が第72回河北文化賞を受賞しました



令和4年度受賞者が1月1日(日)に発表され、東北大学からは東北アジア研究センター教授・佐藤源之氏と災害科学国際研究所シニア研究員・川島秀一氏の受賞が決まりました。同賞は、東北の学

術、芸術、体育、産業、社会活動の各部門で顕著な業績を挙げ、東北の発展のために尽力した個人、団体に贈られます。佐藤氏は災害復興と地域振興のための電波

科学利用に関する貢献、川島氏は三陸地方を拠点にした海の民俗研究を通して災害復興の地平に新たな価値観の必要性を示した功績に対し、同賞を授与されました。

東京大学

<https://www.u-tokyo.ac.jp/>

告知

日光植物園 ミズバショウのための特別開園



東京大学大学院理学系研究科の附属施設「日光植物園」では、ミズバショウ池をはじめ、園内のいくつかの場所にミズバショウが植栽されています。しかし、日光植物園のミズバショウの花が最も美しい時期は例年3月下旬～4月上旬であり、冬期閉園期間中にピークを過ぎてしまいます。そこで、開園日に先駆け、ミズバショウを見ていただくための特別開園を行っています。

期間 3月中旬～下旬（予定）

※詳細はQRコードからご確認ください。

第3回化学が拓く もしかする未来シンポジウム～前ムキな素材、未来での社会実装～



もしかする未来の研究所（東京大学生産技術研究所）の教員が、未来を支える機能材料開発に関する応用化学について紹介します。

日時 3月20日（月）14：00～16：00

形態 ハイブリッド

場所 東京大学生産技術研究所コンベンションホール またはオンライン

演題 「省エネ社会の実現にむけた無機デバイス、未来での社会実装」

講師 藤岡洋氏（東京大学生産技術研究所教授）

※他にも講演が予定されています。詳細はQRコードからご確認ください。

第4回未来志向射出成形技術シンポジウム



東京大学生産技術研究所 社会連携研究部門「未来志向射出成形技術」は、来るべき射出成形技術を先導することを目的として2018年4月に発足し、現在7社と連携して研究開発を進めています。5年間の総括として、シンポジウムおよび特別講演・研究総括講演を開催します。

日時 3月22日（水）13：00～17：30

形態 ハイブリッド

場所 東京大学生産技術研究所コンベンションホール またはオンライン

演題 「接着接合部品の自動車への適用：採用事例と今後の課題」

講師 村上豪氏（日本精工コア技術研究開発センター・第二研究開発室グループマネジャー）

参加費 無料

※他にも講演が予定されています。詳細はQRコードからご確認ください。

報告

お茶の水女子大学と連携および協力に関する包括協定を締結しました



お茶の水女子大学と東京大学は、共に文京区内に本部を置く国立大学法人であり、従来より人材交流や学生交流等の面で連携を行ってきました。教育理念・規模など多くの異なる個性を持つ両大学が幅広く連携を強化することにより、一大学単独の取り組みだけでは得られない高い相乗効果が得られると考えています。このたびの包括協定の下、両大学の強

み・特長を生かして更なる連携を推進することにより、学問分野の更なる拡がり、多様性と包摂性を尊重するグローバル

リーダー人材の育成を実現するとともに、地域貢献はもとより世界規模課題の解決に貢献することを目指します。

名古屋大学

<https://www.nagoya-u.ac.jp/>

告知

グリーンイズム

GiSM 第2回ワークショップ online～様々な「みる」を通じて高温プロセスに内在する現象を紐解く～



カーボンニュートラルの実現に向けて、製造プロセスの変革が多くの材料において検討されています。特に製・精錬、凝固を経て製造される材料の品質や材質特性のさらなる向上を図るにあたり、高温融体プロセス内で生じている現象を正確に理解し制御することが求められます。今回は、様々な「みる」手法を用いて、多相、混相融体内および界面での輸送現象を紐解いていきます。

日時 3月28日(火) 13:00～17:20
形態 オンライン

参加費 無料(要事前申込)

申込期日 3月15日(水)

※詳細はQRコードからご確認ください。

報告

名古屋大学教員が高松宮妃癌研究基金学術賞を受賞しました



同賞は、がんの領域において特に優れた業績を挙げた学者・研究者を対象とし、原則として「基礎」および「臨床」の各領域から1件(合計2件)が選ばれるものです。名古屋大学からは、医学系研究科教授・西川博嘉氏が研究テーマ「がん微小環境における免疫抑制機構の解明と治療への展開」で受賞しました。

名大研究フロントライン Vol. 22「免疫研究を食卓に届けています」動画が公開されました



働きすぎも働かなすぎも健康トラブルにつながる「免疫」。その機能は日々の脂質の摂り方と密接に関わっています。免疫と脂質の研究と、その知見を人々に伝える活動、両方に取り組んでいる名古屋大学環境医学研究所講師・伊藤パディジャ綾香氏を紹介する動画が公開されました。

京都大学

<https://www.kyoto-u.ac.jp/>

告知

京都大学総合博物館特別展「蝶に会える日 村田泰隆コレクション展 vol. 1 アゲハチョウ類の多様性」



村田製作所2代目社長で蝶の研究者としても知られる村田泰隆氏(1947-2018)。氏によって蒐集された蝶類を主とする昆虫コレクションが、京都大学総合博物館に寄贈されました。今後数年間にわたり、

このコレクションの一部が期間限定で展示公開されます。

期間 開催中～3月5日(日)

時間 9:30～15:30(入館は15:00まで)

休館日 月・火

場所 京都大学総合博物館

観覧料 一般400円 大学生300円

※詳細はQRコードからご確認ください。

第 130 回京都大学丸の内セミナー「ウイルスの増殖機構を電子顕微鏡で視る」



日時 4月7日(金) 18:00~19:30
形態 ハイブリッド
場所 京都大学東京オフィス(新丸の内ビルディング10階)、またはオンライン(Zoomウェビナー)
演題 「ウイルスの増殖機構を電子顕微鏡で視る」
講師 野田岳志氏(京都大学医生物学研究所教授)
対象 どなたでもご参加いただけます。
参加費 無料
※詳細はQRコードからご確認ください。

報 告

『京大理学部 知の真髓—玉城嘉十郎の2つの遺産』が出版されました



京都大学理学部において理論物理学を講じた玉城嘉十郎氏(1886-1938)。没後、遺族からの寄附で創設された「玉城記念講演会」が2019年に50周年を迎えたことを機に、2022年12月30日に書籍『京大理学部 知の真髓—玉城嘉十郎の2つの遺産』が出版されました。

2つの遺産とは、湯川秀樹、朝永振一郎をはじめ、玉城研究室から紡ぎ出されたノーベル賞受賞者の系譜と、偉大な教育者であった玉城嘉十郎を記念して、すぐには実らなくても測ることが出来ない成果を期待して広く基礎科学の話を開こうと始めた講演会です。この2つの遺産に焦点を当てつつ、新しい科学の世界を切り拓いてきた京大理学部の知の真髓に迫る内容です。

大 阪 大 学

<http://www.osaka-u.ac.jp/>

報 告 知

退職教授による記念講義



定年等のため3月31日付で退職する大阪大学教授の記念講義(最終講義等)が開催されます。

日時 3月5日(日) 14:00~(予定)
場所 国立国際美術館・講堂
演題 1、『ファン・ゴッホ生成変容史』新刊書メディアムサイズの予告編 本にはない画像添え
2、圀府寺司風 Personal, Family & Generation History
講師 圀府寺司氏(大阪大学人文学研究科教授)
日時 3月10日(金) 15:10~16:40
形態 ハイブリッド
場所 大阪大学文法経講義棟4F(文41)講義室 またはオンライン

演題 「複合語の形成メカニズムと意味—日本語から見えてくるもの—(仮)」
講師 由本陽子氏(大阪大学人文学研究科教授)

※他にも多数の記念講義が予定されています。詳細はQRコードからご確認ください。

報 告 知

工学研究科教授の林高史氏がフンボルト賞を受賞しました



同賞は、ドイツ連邦政府が支援するアレキサンダー・フォン・フンボルト財団が創設した賞で、基本的な発見、新しい理論、または洞察が自身の専門分野内外に大きな影響を与え、今後も最先端の学術成果を生み出しつづけることが期待される世界各国の自然科学・社会科学にかかわる学者に授与されます。今回受賞の

対象となった研究は「生物無機化学に基づくヘムタンパク質の機能化」であり、ヘムやそれを覆うタンパク質の改変に伴う人工金属酵素の開発やバイオナノ材料への展開と、ドイツのグループとの進化工学を駆使した共同研究の成果が高く評価されました。

大阪大学総長らが「接合科学研究所 HUST-OU」設立記念式典に参加しました



1月10日(火)、西尾章治郎総長、河

原源太理事・副学長、接合科学研究所田中 学所長ほか大阪大学の教職員が、ハノイ工科大学(HUST)で開催された「接合科学研究所 HUST-OU」の設立記念式典に参加しました。同研究所は、2013年より大阪大学接合科学研究所とハノイ工科大学機械工学部が中心となって設立に向けて連携してきたものであり、日越両政府、日系および現地企業から多数の支援を受けて今回の設立に至りました。

九州大学

<https://www.kyushu-u.ac.jp/>

■ 告知

「2022 アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA」受賞作品展



九州大学と福岡県・福岡市などが主催するメディアアートコンペティション「2022 アジアデジタルアート大賞展 FUKUOKA (ADAA)」は、北部九州からデジタルコンテンツの創造を担う高度な技能と豊かな感性を持つクリエイターの発掘・育成の場として2001年にスタートしました。22回目の今回は、世界22の国と地域から893点の応募があり、アジアデジタルアート大賞をはじめとする計54点の受賞作品が選ばれました。九州大学の学生も計8作品が受賞しました。

期間 3月8日(水)～3月12日(日)

場所 福岡市美術館

入場料 無料

※詳細はQRコードからご確認ください。

バッハ・コレギウム・ジャパン「口短調ミサ曲」



九州大学創立111周年記念 VISION EXPOの一環として、九州大学客員教授でもある鈴木優人氏が首席指揮者を務めるバッハ・コレギウム・ジャパンの演奏会が開催されます。

日時 3月17日(金) 18:30～20:30

場所 アクロス福岡 シンフォニーホール

定員 先着1,867名

申込期日 3月16日(木)

※演奏会に先立ち、講演会の開催が予定されています。詳細はQRコードからご確認ください。

■ 報告

九州大学農学部附属農場 創立百周年記念行事が開催されました



同農場は、農学に関する教育および研究を行う施設として、1921(大正10)年4月に福岡県糟屋郡粕屋町原町に設置されました(2021年3月伊都キャンパスに移転)。2022年12月5日(月)、創立百周年を記念して記念行事が開催され、アグリ・バイオ研究施設にある附属農場本館や実習棟などの施設見学を実施したほか、椎木講堂の大会議室にて記念式典と記念講演会がありました。記念講演会では、前農場長・望月俊宏氏より「農場の過去・現在・未来」という演題で、附属農場の百年間の歩み、伊都キャンパスへの移転、および今後の展望についてのお話がありました。

同窓会案内・開催報告

新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、ご案内のイベントも変更となる可能性があります。最新情報は、各 Web サイトからご確認ください（PC ご使用の方はタイトル等でご検索ください）。

七大学同窓会共通

報告

和の文化で、心やすらぐ —— 巣鴨会の活動紹介（17）

2022 年 11 月から 12 月にかけて、巣鴨会（旧七帝大若手交流会）は「紅葉観賞会」「文楽鑑賞教室&聖夜のつどい」を開催しました。お昼は和の文化に接し、夜は趣を変えてイルミネーション散策やクリスマスパーティーを行いました。

1. 「紅葉観賞会」について

2022 年 11 月 27 日（日）、東京・浜離宮恩賜庭園に 23 人の方が集い、「紅葉観賞会」を行いました。お昼はまず庭園内の集会施設「芳梅亭」でお肉をふんだんに詰め込んだお弁当を食し、食欲の秋を堪能。その後、庭園に繰り出し、「潮入の池」などの名所や色づく紅葉の下を散策しました。秋景色に足を止め、写真を撮る姿が多く見られました。最後に「芳梅亭」に戻ってお茶会を開



10 号サイズの特大ケーキ

きました。メインイベントとして 10 号サイズの特大ホールケーキが登場、参加者一同どよめいていました。

夜はワンちゃんも交え「丸の内イルミネーション 2022」を散策したのちインド料理店で懇親会を開催、晩秋から冬へ移りゆく東京の風情を楽しみました。

2. 幹事より

参加させていただいた平と申します。快晴の空のもと、陽光にきらめく紅葉を心ゆくまで楽しむことができました。昼食等で滞在した「芳梅亭」は離宮時代の官舎を修復した歴史的な建物で、和の趣あるアットホームな空間の中、参加者の会話も弾みました。紅葉観賞の後は東京駅近郊のイルミネーション観賞へ。クリスマスムード一色



青空と紅葉（撮影：平さん）

に包まれた美しい街並みに、一行も明るく華やかな雰囲気に包まれました。楽しい時間をいただきありがとうございました。
(平博司さん・東大(院)・新領域創成科学研究科)

3. 「文楽鑑賞教室&聖夜のつどい」について

12月10日(土)、東京・国立劇場と港区のタワーマンションに計33人の方が集まって「文楽鑑賞教室&聖夜のつどい」を開催しました。「文楽鑑賞教室」では人形の動かし方について解説を受けたのち、「絵本太功記」を観劇しました。参加者からは「お人形たちの表情もはっきり見える良いお席で皆さんとご一緒できて、とても楽しかったです」との声が寄せられました。

夜は港区のタワーマンションに移動してクリスマスパーティー「聖夜のつどい」を行いました。ホストが前夜から仕込んでいた数々のクリスマスディナーやシャンパンに顔をほころばせつつ、2022年の巣鴨会を締め



クリスマスディナーを囲んで

くくりました。

4. 問い合わせ

巣鴨会は2023年3月以降、文京区のタワーマンションでの懇親会やお花見といったリアルイベントを開催していきます。また、オンライン交流会も不定期に行います。問い合わせや入会希望は久保(kubo@wind.ocn.ne.jp)までお願いいたします。

報告：久保真一 会員(九大・法・平15卒)

北海道大学同窓会

<https://www.alumni-hokudai.jp/>

報告

北大フロンティア基金《恵迪寮改修費》への寄附状況



北大フロンティア基金《恵迪寮改修費》への寄附は、2022年11月時点で延べ寄附者数345名/寄附金総額11,975,000円となりました。築40年を迎える恵迪寮の大規模改修を実現するため、北大フロンティア基金を通じた支援募金が継続されています。

旧高倉邸でクリスマスコンサートが開催されました



2022年12月25日(日)、旧高倉邸で北海道農民管弦楽団(通称・農民オケ)の主宰者・指揮者である牧野時夫氏(北海道大学農学部卒)らのクリスマスコンサートが開催されました。旧高倉邸は1921(大正10)年築の木造2階建て洋館で、北海道大学名

誉教授だった故・高倉新一郎氏(1902-1990)の自宅・書庫・研究拠点として使用され、現在はカフェ(café BEAN's)として再利用されています。旧高倉邸のある一帯は、JR桑園駅と北海道大学農学部ほど近く、「桑園の大学村」「桑園博士町」と呼ばれて市民に親しまれており、札幌市の「さっぽろ・ふるさと文化百選」にも選定されています。

血管肉腫クラウドファンディングプロジェクトが終了しました



2022年12月26日(月)、北海道大学獣医血管肉腫研究チームが主催する血管肉腫クラウドファンディングプロジェクトが終了しました。11月1日(火)にAll or Nothing形式(期間内に集まった寄付総額が目標金額に到達した場合にのみ実行者が寄付金を受け取る形式)で開始され、最終的に

335名から合計5,200,000円の寄付があり目標達成となりました。同プロジェクトは、比較病理学教室の青島圭佑助教らにより、犬に頻発する血管肉腫という治療法のない

がんの基礎研究を進展させるため立ち上げられ、終了後も引き続き北大フロンティア基金を通して寄付を受け付けています。

東北大学同窓会

<https://shuyukai-tohoku-u.net/>

報告

東北大学北海道同窓会連合会
令和4年度同窓会が開催されました



2022年11月18日(金)、札幌ガーデンパレスにて開催され、50名以上の参加がありました。万全の感染対策のもと、令和元年以前と同様の形式で開催され、若手の参加者も多く、世代を超えた交流が行われました。「経済安全保障とマイナー物質戦略の話」と題した東北大学副学長・東北大学校友会代表理事の長坂徹也氏の講演のほか、学生歌「青葉もゆる このみちのく」斉唱や、舛田雅弘氏による校友歌「緑の丘」フルート演奏もありました。

東北大学経済学部・農学部同窓会
関西支部共催の講演会・懇親会が開催されました



コロナ禍により従来と同窓会活動を休止していましたが、2022年11月26日(土)、関西地区経和会(経済学部同窓会関西支部)と関西青葉会(農学部同窓会関西支部)の合同企画として、ガーデンシティクラブ大阪で開催されました。講演会では、「グルテンフリーにみる小麦粉と健康の問題について」と題し、神戸女子大学名誉教授で関西青葉会会長の瀬口正晴氏にお話しいただきました。当日は、関西在住の経済学部と農学部出身の同窓生の参加があり、盛会のうちに終了しました。

東京大学同窓会

<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/alumni/alum-community/>

告知

地域同窓会

東京銀杏会第28回
トップフォーラム



日時 3月25日(土) 13:00~16:00

場所 学士会館201号室

テーマ 「リスクのなかのグローバル社会」

コーディネーター 藤原帰一氏(千葉大学国際高等研究基幹特任教授・東京大学名誉教授他)

千葉銀杏会総会

日時 4月8日(土) 10:30~

場所 未定

※詳細はQRコードからご確認ください。

報告

東京大学地域同窓会連合会・
兵庫東大会「歴史ロマン・味覚の旅」
が開催されました



コロナ感染拡大のため中止していましたが、2022年11月19日(土)に3年ぶりで開催され、奈良東大会から参加の方を含め17名(家族4組)の参加がありました。紅葉真っ盛りの中、「西の比叡山」と呼ばれる兵庫県姫路市の天台宗別格本山、西国二十七番霊場の書写山園教寺の見学と日本料理を堪能しました。

兵庫東大会は、毎年11月に「歴史ロマン・味覚の旅」(日帰り)を開催しています。兵庫以外の方も参加できますので、お問い合わせください。

お問い合わせ



名古屋大学同窓会

<https://www.nual.nagoya-u.ac.jp/>

告知

名古屋大学キタン会 「neighbors」



neighbors は、キタン会若手会員と現役学生の交流の場を提供することを目的に発足され、2～3カ月に1回ほどのペースでオンラインのイベントや座談会などを開催しています。これまでに職種別座談会や就活対策イベント、「半沢直樹」の世界を現役バンカーが語る会などが実施されました。イベント企画の希望など、お問い合わせはキタン会事務局までお願いします。
※詳細はQRコードからご確認ください。

報告

名古屋大学全学同窓会米国支部が設立されました



2022年7月、名古屋大学全学同窓会幹事会にて、在アメリカの名古屋大学OB・OG等の集まりとして活動してきた「NU Friends in the States」が全学同窓会米国支部に位置付けられることが承認されました。これを受けて、米国支部は全世界で16番目の名古屋大学全学同窓会の海外支部となり、1月28日にアメリカ・サンフランシスコにて開催された設立記念総会をもって、正式に設立されました。

京都大学同窓会

<http://hp.alumni.kyoto-u.ac.jp/>

報告

『京都大学百二十五年史』が 刊行されました



京都大学創立125周年記念事業の一環として、2022年6月に『京都大学百二十五年史 通史編』『資料編』が刊行されました。これまで、京都大学の沿革史は『京都帝国大学史』（1943年刊行）、『京都大学七十年史』（1967年刊行）、『京都大学百年史』（1997年～2001年にかけて刊行）を発刊しており、今回は4回目の沿革史編纂です。1月末より、一般書店でも購入可能になりました。

京都大学土木会「2022 樁の会 学生・OG オンライン交流会」が開催されました



2022年12月3日（土）、京都大学土木会（京土会）女性支部「樁の会」主催「2022 樁の会 学生・OG オンライン交流会」が開催されました。これまでに京都で3回開催された現役学生向けの「キャリア支援交流会」と、2019年に初めて東京で開催された「OG交流会」を統合したもので、2021年から継続してオンラインでの実施となりました。学生5名、国内外の卒業生18名とその子供3名の参加がありました。

大阪大学同窓会

https://www.osaka-u.ac.jp/ja/campus/alumni/AAF_OU/top

告知

大阪大学法学部同窓会「青雲会」準会員向け「せいうんエンサポ！」



青雲会では、準会員（在学生）が就職活動を行う際に正会員であるOB・OGを訪問できるようにする取り組み「せいうんエンサ

ポ！」（青雲会エンプロイメントサポートプロジェクト）を実施しています。登録OB・OG名簿から訪問先を選び、青雲会事務局までご連絡ください。初回のみ事務局が仲介します。なお、「せいうんエンサポ！」の利用は、青雲会入会金を納付した準会員に限ります。

※詳細はQRコードからご確認ください。

大阪大学大学院国際公共政策 研究科 (OSIPP) オンライン 大同窓会 2022 が開催さ れました



2022年11月27日(日)にオンライン形式で開催され、現役生や現役・退職教職員を含め約100名の参加がありました。修了生でバンドン工科大学助教・Tengku Munawar Chalil氏の報告では、「インドネシアの教育事情」と題し、同大学の教育環境や研究内容、近況についてのお話がありました。続いて、同じく修了生で早稲田大学教授・中林美恵子氏の報告では、アメリカ連邦公務員としての勤務やメディアでの論考などの活動といった経験をもとに、アメリカの中間選挙の結果について解説されました。今回オンライン同窓会は初の試みでしたが、気軽に参加できるオンラインのメリットを生かし、さまざまな方面で活躍する修了生や

教職員、現役生が世代を超えて交流する機会となりました。

報 告

大阪大学経済学部同窓会・東 京支部「東京待兼会」ゴルフ 会が開催されました



1月14日(土)、東京待兼会の新年ゴルフ会が開催されました。新型コロナ第8波やインフルエンザの流行拡大が懸念される中、三部合同での開催や盛大な表彰式は見送られましたが、青雲会から2名、大阪から前幹事の米田氏の参加があり、久しぶりの新年ゴルフ会となりました。優勝は後藤基文氏(30期)でした。なお、長年の開催場所だった昭和の森ゴルフコースは近々閉鎖となるため、次回以降の開催場所は変更される予定です。

九州大学同窓会

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/graduate/>

告 知

箱崎サテライト旧工学部本館 の改修支援事業が開始されま した



九州大学箱崎キャンパス内の古い建築物の多くは解体されましたが、旧工学部本館(1930年竣工)をはじめとする代表的な建築物は、建設当初の姿を残したまま保存・活用されることが決まりました。九州大学では、保存される「旧工学部本館」「本部第一庁舎」「本部第三庁舎」「正門門衛所」「正門」のあるゾーンを「箱崎サテライト」と名付け、まずは大学のシンボルとして親しまれた旧工学部本館の改修工事を開始するにあたり基金が設立されました。旧工学部本館の公開活用開始は2027年度の予定です。※詳細はQRコードからご確認ください。

「若手研究者育成・研究支援 事業基金」の支援募集が開始 されました



九州大学では、2030年に向けて「総合知で社会を牽引する大学」を目指すために、「次代を担う若手研究者育成」と「自由闊達な研究展開の基盤となる研究支援」を両輪とする「若手研究者育成・研究支援事業」を展開しています。このたび、同事業をさらに持続・発展させる目的で「若手研究者育成・研究支援事業基金」が設立され、支援募集が開始されました。

※詳細はQRコードからご確認ください。

学会会員ゆかりの地を訪れる

学会若手代議員／学会 YELL 運営委員の小原です。令和4年11月5日(土)～6日(日)に1泊2日で、学会 YELL の桂由治郎氏ゆかりの地（現在お住まいの地）である小田原を案内いただきながら旅行をしてきました。YELL ではこれまで同じような経緯にて福井、オーストラリアを訪れてきましたが、今回で第3弾となります。

私と同じ若手代議員／学会 YELL 運営委員の谷藤氏、学会会員支援チーム マネージャー村松氏とともに早朝小田原駅に集結し、一行は徒歩圏内にある小田原城へ。小田原城は外観も見事ですが、場内の資料も充実しており、桂氏から小田原城の当時の様子や裏話などを聞きながらの学び多き訪問となりました。ここで小田原城が攻め落とされるシーンの制作動画を視聴しましたが、後に石垣山一夜城（豊臣秀吉が一夜で築城したようにみせた城）を訪れた際に動画の様子を思い出し、より一層強く歴史に思いを馳せることができました。その後、隣接する報徳二宮神社でお参りをし、風情ある店舗でいろいろ購入を果たしたのちに、小田原宿なりわい交流館へ。ここは水道発祥の地とする説もあるとのことで、社会人でありながら大学院で研究を行うビジネスとアカデミアの両側面を持つ桂氏の現在の研究テーマだそうです。社会人になってもなお、いつまでも学びの姿勢を強く持ち続ける桂氏には本当に頭が下がりました。

その後、桂氏の運転する自動車に乗り込み、本格的に移動を開始。まずは小田原漁港にある TOTO 小田原へ。ここは刺身が食べ放題のお店があり、人生で初めて刺身だけで満腹になるという大変貴重な経験ができました。漁港からの海の眺めを堪能した後は、小田原名物かまぼこのお店、鈴なり市場へ。ここは大規模店舗にさまざまな種類のかまぼこがずらりと並んでいることに圧倒されるのですが、かまぼこ博物館なるものが隣接されており、かまぼこ板の展示や職人が手際よくかまぼこ作りを行う様子は見ものでした。宿泊先のエクシブ湯河原離宮では、湯河原温泉を心ゆくまで満喫し、美味しい酒と肴とともに最高の一夜を過ごすことができました。

このように学会で仲間と知り合ったおかげで、自身の視野や知見が広がる機会を得るのはとても貴重なことであり、学会が有する価値であると思います。学会に感謝ですね。この日の様子は私が管理している Facebook グループにも投稿しています。他の投稿も含めて、右にある QR コードからもぜひご覧ください。



(小原太 会員・代議員・学会 YELL 運営委員 東大・工修・工・平 16)



令和4年11月5日(土)～6日(日) 小田原旅行にて

自分の可能性を広げる「二刀流」を目指す

『學士會会報』『NU7』の愛読者の皆様の中にはご存じの方が多いと思いますが、学会の中に若手の活動を応援する YELL という活動があります。かなり前になりますが YELL の草創期には活動に参加していたご縁で、今でも YELL を運営している方と仲良くさせていただいています。昨年には YELL の方々と私が住む／推す小田原に小旅行をしようということで盛り上がり、小原代議員・谷藤代議員・事務局の村松氏と4名で無事に小田原・湯河原に旅行することができました。



小田原城にて。左から村松氏・谷藤氏・筆者・小原氏。

当日は湯河原の温泉宿で宿泊したのですが、酒を交わせばなんでもさらけ出せるもので、私もいろんな悩みを語っていました。その中の一つが、「したいことがあるのだけど、どのようにターゲットにアプローチしたらいいかわからない」ということだったのですが、そこで出た提案が、読者数数万を誇る学会のベストセラー『NU7』の活動報告でアピールすればいいのではないかというアイデア。学会の会員は属性・職業が多種多様なので、きっと刺さる読者もいらっしやるだろうということで筆を執った次第です。

名乗りもせずに前置きを書いちゃいましたが、私は2006年に東北大学経済学部を卒業し現在は資産運用会社で法務関係の業務を行う傍ら、歴史好きが高じて通信制大学で歴史学を勉強しています。今年の4月からはやはり通信制の大学院で歴史学の研究を始める予定です。ある意味、仕事と歴史学の「二刀流」をしている感じです。

「二刀流」はどのようなことでも人生の幅を広げると考えていて、いろいろ「二刀流」の考え方を取り入れています。前述の「業務における専門性」と「歴史学」の他、人間関係でも「家族や学生時代の友人、同僚といった通常の人生のプロセスで形成される人間関係」と「学会や自分の意志で知り合った人との人間関係」と二通りの人間関係の形成を意識しています。小田原に住み小田原城を歩き、東京で働き高層ビルを眺めるライフスタイルもまた「二刀流」かもしれません。このように「二刀流」をこなしていくと自分の知見・視野が広がっていくのを感じます。

今はもう一つ「二刀流」を行いたいと考えています。それは、ビジネスパーソンとしての本業と研究・教育活動という「二刀流」です。業務を行う上で生じた疑問を考え続けるのが好きでしたし、自分の名前でも考察を形にするのも面白いので2021年に某大学で博士号を取得したのですが、せっかくであればそれを活かして研究や教育活動も行ってみたいと考えています。しかし教育界に何の伝手もない人間がどうしたらいいのかわからず、これこそが先ほどの YELL の旅行で相談したことです。

ここからが本題なのですが、いいところで紙幅の限界を迎えてしまいました。幸い複数回の寄稿を承認いただいていますので、詳細は追加の会員報告として次回お話しさせていただきます。

(桂由治郎 会員 東北大・経・平 18)

北大魂

～富士宮で絶品チーズを作る高木宏昭氏の紹介～

北大魂（ホクダイダマシイ）とは、新しいことに挑戦している北大同窓生や社会で活躍している北大同窓生を皆で応援することを目的として、北海道大学選挙区の学士会代議員である谷藤公貴が北海道大学の学生や若い世代の卒業生を不定期で紹介する新コーナーです。お世話になっている山本剛先輩（北大法学部 1998 年卒）からの「先輩から受けた恩は後輩に返してあげてね。」という言葉を受けて、自分が次世代に対してできることは何かを考え、この北大魂を立ち上げました。

第 1 回の北大魂でご紹介するのは、2017 年に教育学部を卒業された高木宏昭氏です。彼を紹介する理由は、彼の人柄と、彼がたどってきた道、彼の作るチーズを皆さんに知ってもらいたいからです。富士宮でチーズを作っている彼を知ったのは 2021 年の第 9 回食品産業エルム会でした。好青年だなというのが第一印象でした。その後、チーズ好きの私は彼の作るチーズをオンラインで何度か購入し、このチーズの美味しさは世界が知るべきだと思いました。

愛媛県東温市出身の高木氏のご両親の影響で幼少期から食に関心を持ち、美味しいものがある北海道にも何度も訪れていたそうです。将来は高校の国語教員になりたいと、厳しい自然環境がありながらも自由で大らかな気風のある北海道大学の教育学部に入りました。勉学に励みつつも、やはり彼の関心は北海道の豊かな食に向かいました。大学 1 年生の夏には道内のアイスクリーム屋や牧場巡りをしていました。「こんなに素晴らしい酪農家がいるのに、砂糖や脱脂粉乳、クリーム濃い味のするアイスしかない。もっと牛乳の良さをストレートに感じられるミルク感の強いアイスがあるべきだ。」とその当時強く感じたそうです。大学 3 年生の時には就職活動の合間を縫い、北大祭で「たか〜ぎパアのアイス屋さん」というオリジナルアイスの販売を始め、そのまま会社を創業し、大学卒業まで学内の生協やエルムの森で販売を続けました。北大祭で友人たちとアイス売り切った瞬間が北大生活での一番の思い出という高木氏、自分が美味しいと思って作った商品を誰かが美味しいと喜んで食べてくれることに強い感動を覚えたそうです。そして、一部上場企業の内定を辞退し、大学 4 年生の時には就職活動はせず、教員の道ではなく乳製品の仕事をしようと決意しました。「人生はワクワクする方に進んで行く。」ということを経験室の担当教員であった恩師から学び、北大での 4 年間は酪農と牛乳に出会い、運命が変わった時間、今の仕事に対する課題や意識、基礎を築くための貴重な時間になりました。



大学 3 年生の時の北大祭

大学卒業後、すぐに自身のアイス屋を閉じ、百年記念会館にある北大マルシェ Café&Labo というレストランと乳製品製造工房を創業しました。しかし、そこで作り手として、また、経営者としての力不足を痛感しました。そして、一から学ぶことが必要だと思い、代表権と持ち株を譲渡して北海道黒松内のチーズ工房で

修行をすることになりました。修行を終えて全国各地を巡る中、富士宮の地と出会います。そこは富士山の麓の高原地帯で、酪農が盛んでチーズ作りには欠かせない良質な水がありました。再起を図るべく富士宮に移住し、酪農家のもとで働きながら創業の準備をして、2021年1月に七富チーズ工房を開業しました。

七富チーズ工房では、富士山の麓で育てられた牛の良質な牛乳と豊かな水で、柔らかくてジューシーなモッツァレラを作っています。2022年には静岡県が主催する食品コンペで一位となる最高金賞を受賞しました。また、静岡県小山町の富士スピードウェイにできたハイアットでも彼のチーズを味わうことができます。高木氏は平日に取引先向けに製造をし、土日は工房直売所で営業をしています。そして、地元の小学校でチーズ作り教室を開くなど、新たな取り組みにも挑戦しています。そんな彼が仕事で大切にしていることは、「このチーズを自分が作る必要があるか、昨日より今日、今日より明日、美味しいチーズを作ろうとすること。」だと教えてくれました。

ところで、高木氏に後輩に伝えたい失敗談を伺ったところ、「自身で創業した際、自分は独りだと勘違いをして、周りに頼り、助けてもらい、頭を下げるのができませんでした。その失敗が今の仕事にも繋がっていますが、当時素直になれていて、今も代表を続けていたならどんな人生だったろうと思います。」という言葉をいただきました。彼と会った時に、その礼儀正しさと笑顔を見て、若いながらに沢山苦労してきたのだろうことは容易に想像がつかしました。そして、だからこそ、彼を応援したくなりました。

最後に、読者の皆さまへメッセージをいただきました。「私にとって北大での学生時代はチーズと出会い、私を育てて頂く貴重な期間でした。これからは静岡の地で世界と戦うチーズを作って参りますので、暖かく応援頂けますと幸いです。ネットショップ、ふるさと納税もごぞいます。どうぞよろしく願いいたします。」多くの受賞歴を持つ彼のチーズは、テレビや新聞など様々なメディアに取り上げられています。あるテレビ番組で芸人さんが「頑張れ！高木！」と車窓からエールを送っていました。チーズだけではなく、高木氏がどれだけ多くの方々に愛されているかは彼を見ると分かります。2023年には静岡市に2号店をオープンするチーズ王子 高木宏昭氏、彼は“Boys, be ambitious!”(少年よ大志を抱け)をまさに実践しているといえるでしょう。

(谷藤公貴 会員・代議員・学生会 YELL 運営委員・学生会 Web サロン代表
北大・看護・平 23)



社会人1年目の北大マルシェ Café&Labo 代表時



チーズ王子 高木宏昭氏



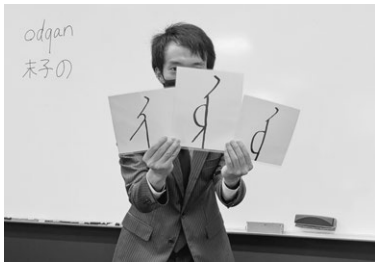
七富チーズ工房

阪大のTFを通して

皆様初めまして。大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻博士後期課程3年に所属し、モンゴル語研究を専門に行なっております西村僚之佑と申します。この度、会員活動報告の機会をいただけ感謝しております。(定期的に書く機会をいただけるような人材になりたい。)

大学院生というと、専門の研究をずっとしているというイメージもあるかなと思うのですが、2022年は、私は、大学院でのモンゴル語の研究以外にも、大阪大学のモンゴル語専攻のモンゴル文字教育の講義でTF(ティーチングフェロー)というものを行ない、権限の範囲内で授業を2回実施したり、高度副プログラムで“知的財産法を修得した人材育成”と“未来の大学教員養成プログラム”というコースを履修し、知的財産法や教育に関する勉強もさせていただいております。学生会のミニプレゼン会では、楽しく3回も発表させていただき、その中で新たな観点をいただいたり、人とのつながりを感じることができ、コロナ禍にもかかわらず幸せに過ごさせていただいております。

TF担当の授業で扱っているモンゴル文字とは、13世紀頃から使用されている伝統的な縦書きの文字のことです。写真で、私が黒板に書いている縦の模様のようなものがモンゴル文字です。その下に書いております文字はキリル文字で、現在モンゴル国では、キリル文字が主に使用されております。モンゴル文字が使用されているのは、主に中国の内モンゴル自治区となっております。



モンゴル文字カード



モンゴル文字の授業の様子

モンゴル文字は、一見すると日本人からは馴染みのない模様のように思えますが、実は、特定の形が特定のラテン文字(a, e, b, p, など)を表していますので、モンゴル文字とラテン文字の相関関係を覚えたら、あとは慣れるまで頑張るという段階になります。ただ、モンゴル文字は単語の語頭・語中・語末のどこに来るかによって、文字の形が変形しますので、モンゴル文字とラテン文字の関係が1対1の関係でないところには注意が必要です。

実は1年半程前に指導教員変更という辛い状況にありましたが、変更後の教員のもとでTFという業務をいただき、上述した副プログラムのおかげで、教育というものへの興味を持つことができ、その結果モンゴル文字カードを用いたクイズ形式授業をTFの授業実践で行うことができ、学部生からは、楽しかった、モンゴル文字を思い出すことができたといい意見もいただくことになりました。また、知的財産法の勉強をしていたこともあり、このカードで特許が取れないかと挑戦したところ、“原語表記と転写表記の変換用カードセット”という名称で特許査定を受けることができました。そして、日本教育工学会という学会を紹介していただいたことから、今までモンゴルという枠の中にいた私が教育学の分野に参加することになり、新しい一歩が踏み出しております。学生会での活動も精神的に参らなかつた一因となっております。

2023年は、卯年ですので、より飛躍した年になるよう努めてまいりますので、皆様今後とも引き続きよろしくお願いたします。

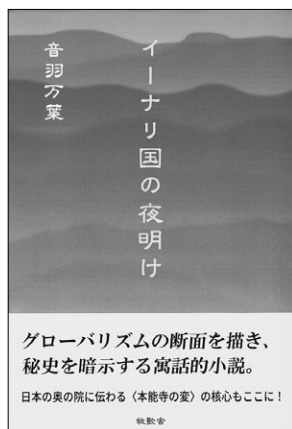
(西村僚之佑 会員 阪大・外・平30)

会員著作物紹介

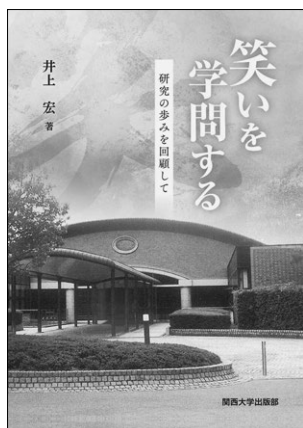
『イーナリ国の夜明け』

1990年代に入り「グローバル」なる語が頻用され始め、所謂グローバリズムが社会に浸透していった。その30年の間、我が国の第一次産業や伝統文化や地域経済は衰退した。本書は、グローバリズムが人間生活に及ぼす負の側面を示した寓話の小説である。登場人物は架空であるが、明治20年頃京都に生まれた某皇族の存在が、作中ひとりの人物の上に投影されている。本書では、その皇族との交流を通して知り得た秘史を暗示している。

(亀節子 会員／筆名：音羽万葉 東大・教育・昭52)



牧歌舎



関西大学出版部

『笑いを学問する 研究の歩みを回顧して』

大阪の商家で育った著者は、大阪のテレビ局で13年間過ごし、大学に教員として転職。「テレビメディア論」を講じながら、「大阪の笑い」への興味から「人間と笑いとの関係」の追求に関心を持つ。1994年に「日本笑い学会」を創立して「笑い学研究」を志す。大阪府立上方演芸資料館の設立に関与して二代目館長に就任。大阪で育った幼少時から振り返り、85歳までに著者が辿った研究を回顧しつつ「笑い学」への想いを語る。

(井上宏 会員 京大・文・昭35)

文芸社

『伝統文化にみる日本学のすすめ』

本書は江戸時代迄に完成した文化を由来から紐解いた日本学伝統文化編である。仏教信仰を軸に文学・美術・音楽・芸能等日本の古典文化を歴史的体系的に解説する。知性の生きる科学・技術と霊性に依拠する信仰との融和が手に取るようにわかり、世界に誇る日本の伝統文化を再評価に導く。

(石田久二 会員 東大・法・昭40)



『アートとしての信用格付け その技法と現実』

企業や政府に付与される「格付け」は、財務分析によって数学の問題を解くように「正解」できるものと誤解されることもあります。しかし本来は、数値以外の様々な定性要因を考慮した上で、文脈を持った「クレジット・ストーリー」として示されるものであり、アナリストの表現力が問われます。

本書は、格付けを入口にして「良い会社、良い社会とは何か」を考えるヒントになる内容で、金融や財務の分野に馴染みのない方々から、分かりやすいとの評価を頂いています。

(廣瀬和貞 会員 東大・法・昭63)



金融財政事情研究会

『未来の記憶 A Memory of the Future』 麻田博子(絵)、Tenfu(文)

これは、仕掛けのない仕掛け絵本だ。

独学の画家・麻田博子の絵にはあなたを望む時間へといざなう力がある。

謎の文筆家・Tenfu はあなたといっしょに時間の扉を開ける「仕掛け」を創り出す。

非日常を感じたいときに、壊れそうな「仕掛け」をゆっくりとめくって行ってほしい…。

日本語・英語 2 か国語併記の大人のための絵本。

(筆名：Tenfu 会員 阪大・工・平1)



カナリアコミュニケーションズ

『NU7』では、原稿を会員の皆様から募集しています。発行部数は5万部以上、会員以外の方にも広く配布しています。たくさんのご投稿をお待ちしています。

表紙写真

- ・写真のテーマは自由、2122ピクセル×2977ピクセル以上のカラー・縦組み写真を希望しています（冊子サイズはA5判・天地210mm×左右148mm）。
- ・目次頁に、「氏名・出身大学・学部・卒年」を掲載いたします。

会員通信

会員著作物紹介	著作名・著作者・紹介文（200字以内）・著作物表紙写真をお送りください。
会員ギャラリー	絵画・生け花・陶器などの作品写真をお送りください（最大3点まで）。
会員活動報告	会員同士の交流やイベントの報告内容（800字以内）・写真（1～2点）をお送りください。
会員の声	テーマは自由、1,000字以内（写真掲載希望の場合、写真は1～2点・800字以内）にまとめて、お送りください。

同窓会「開催告知」及び「開催報告」

開催告知	同窓会名称・開催日・開催場所・連絡先（問い合わせ先）をお送りください。
開催報告	開催された会を報告する内容の文章（200字以内）・写真（1～2点）をお送りください。

投稿にあたって

氏名・会員番号（又は、出身大学・学部・卒年）を明記の上、学代会事務局までメールにてお送りください。

送付先

koho@gakushikai.or.jp

- ※投稿の受信確認及び、掲載可否の連絡はいたしません。
- ※掲載作品・掲載時期は『NU7』編集委員会で決定します。選考に関する質問にはお答えできません。
- ※誌面の都合上、編集させていただく場合がございます。
- ※原稿（データを含む）は原則として返却いたしません。
- ※政治・宗教・団体や個人への毀誉褒貶に関わる投稿は受け付けできません。また、差別表現などは修正させていただく場合がございます。
- ※会員通信の著作権は、本会に帰属します。
- ※著作物・絵画等は、学代会館への展示も可能です。詳細はお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、ご案内の講演会やイベントを中止、または延期にする場合がございます。最新情報は、学士会公式サイト (<https://www.gakushikai.or.jp/>) をご確認ください。

告知 学士会主催



夕食会・午餐会

(2023年3月～5月)

【場 所】 学士会館

【参加費】 4,000円 (講演のみ 2,000円)

◎**夕食会** (18:00～食事/18:50～講演/19:50～質疑応答)

3月10日(金) ラウラ・コピロウ氏 (フィンランド大使館商務部上席商務官
ファッション・ライフスタイル担当)

「幸福度ランキング5年連続世界1位のフィンランドのライフスタイル」

2006年函館白百合高等学校 (AFS 留学生)。2010年ヘルシンキ大学在学中に、早稲田大学政治経済学部留学。2013年ヘルシンキ大学社会学部卒業。北海道大学大学院法学研究科入学 (国費留学生)。2015年北海道大学大学院法学研究科修士課程修了。2018年フィンランド大使館商務部副商務官 (ファッション・ライフスタイル担当)。2020年商務官。2022年より現職。

4月10日(月) 荒井 秀典氏 (国立研究開発法人国立長寿医療研究センター理事長)

「健康長寿のための正しい筋肉の鍛え方」

1984年京都大学医学部卒業。1991年京都大学大学院医学研究科博士課程修了。カリフォルニア大学サンフランシスコ校研究員、京都大学医学部老年内科講師を経て、2009年京都大学大学院医学研究科教授。2018年国立長寿医療研究センター病院長、2019年より現職。

2014年に JAT (Journal of Atherosclerosis and Thrombosis) 賞、2020年に全米医学アカデミー (NAM) Catalyst Award を受賞。日本老年学会理事長や日本サルコペニア・フレイル学会代表理事も務める。

5月は休会です。

◎**午餐会** (12:30～食事/13:20～講演/14:20～質疑応答)

3月20日(月) 戸田 奈津子氏 (映画字幕翻訳者)

「映画字幕の世界」

1958年津田塾大学文学芸学部卒業。1970年『野生の少年』、『小さな約束』などの字幕を担当。1979年フランス・フォード・コッポラ監督の推薦により、『地獄の黙示録』の日本語字幕を担当。その後、年間40～50本のペースで字幕翻訳を手がけるようになり、『E.T.』、『007シリーズ』、『タイタニック』、『ミッション・インポッシブル』、『トップガン マーヴェリック』など、現在までに1,500本を超える作品を担当している。2011年神田外語大学客員教授。

第1回淀川長治賞、第4回日本映画批評家大賞・特別賞、文化庁長官表彰、第36回松尾芸能賞・特別賞、第34回河川喜多賞、第49回日本映画ペンクラブ特別功労賞など、受賞歴多数。

4月20日(木) 高樹 のぶ子氏 (作家)

「平安の美と妖しさ」

1968年東京女子大学短期大学部卒業後、出版社・培風館 第一編集部勤務。1980年『その細き道』で小説家デビュー。1983年『光抱く友よ』で第90回芥川賞。1999年『透光の樹』で第35回谷崎潤一郎賞。2001年芥川賞選考委員(～2019年)。2005年九州大学アジア総合政策センター特任教授(～2010年)。2009年紫綬褒章。2010年「トモスイ」で第36回川端康成文学賞。2018年文化功労者。『小説伊勢物語 業平』で、2020年第48回泉鏡花文学賞、2021年第62回毎日芸術賞。

5月22日(月) 河野 龍太郎氏 (BNPパリバ証券株式会社経済調査本部長 チーフエコノミスト)

「グローバル金融経済の行方～『成長の臨界』にどう対応するか?～」

1987年横浜国立大学経済学部卒業後、住友銀行入行。1989年大和投資顧問入社。1994年米国駐在エコノミストとして、米国経済、金融・通貨政策の分析を担当。1996年グローバル・ボンド・ポートフォリオ・マネージャー。1997年株式会社第一生命経済研究所入社。主任研究員、上席研究員として、マクロ経済・金融の分析を担当。2000年より現職。「ESPフォーキャスト調査」2020年度優秀フォーキャスター(17年間で6度目の受賞)。日経ヴェリタス 第27回「債券・為替アナリスト エコノミスト人気調査」エコノミスト部門首位(2年連続、通算9回目)。

詳細は、学士会公式サイトまたは事務局まで。

TEL: 03-3292-5955 (平日9:00～17:00)

MAIL: koenkai-info@gakushikai.or.jp



告知



『學士會会報』959号(2023年3月発行)のご案内

※講師の都合により、内容が変更になる場合があります。

2023年3月発行の『學士會会報』959号は、以下の内容を掲載しています。

■講演録■

「中間選挙後の米国政治・経済と国際秩序の行方」(11月午餐会)

菅野幹雄氏(日本経済新聞社上級論説委員兼編集委員/前ワシントン支局長)

「私のスピントロニクス遍歴」(10月夕食会)

大野英男氏(東北大学総長)

「麴菌の持つ無限の可能性」(11月夕食会)

小泉武夫氏(東京農業大学名誉教授/特定非営利活動法人発酵文化推進機構理事長)

「『IL-6物語』—関節炎からCAR-T細胞治療そしてCOVID19へ—」(10月午餐会)

岸本忠三氏(大阪大学免疫学フロンティア研究センター特任教授/元大阪大学総長)

その他の内容につきましては、右記QRコードからご確認ください。



告知 学士会主催



「1対1☆良縁パーティー」 13:00～17:00

[場所] 学士会館
[参加費] 参加者が正会員・終身会員
10,000円、その他 15,000円

2023年3月12日(日)

参加者を27歳～42歳の独身者に限定(男女各10名)し、事前に記入したプロフィールをもとに1対1で交流を図る、良縁イベントです。

※参加者本人が学士会会員でなくても、祖父母、父母、兄弟姉妹が学士会会員であれば、参加可能です。

詳細は、学士会公式サイトまたは事務局まで。

TEL: 03-3292-5955 (平日9:00～17:00)

MAIL: jigyou@gakushikai.or.jp



告知 学士会主催



第50回関西茶話会

14:30～講演会・質疑応答

[場所] 京都大学楽友会館
[参加費] 2,000円

2023年4月15日(土) 北川 宏氏 (京都大学大学院理学研究科教授)

「現代の錬金術：多元素ナノ合金の開発とグリーン・トランスフォーメーション」

1986年京都大学理学部卒業。1991年京都大学大学院理学研究科博士後期課程化学専攻修了。同年岡崎国立共同研究機構分子科学研究所助手。1994年北陸先端科学技術大学院助手。2000年筑波大学助教授。2003年九州大学大学院理学研究院教授。2009年より現職。専門分野は固体物性化学、錯体化学、無機化学、ナノ物質化学。



詳細は、『學士會會報』959号または関西事務局まで。

TEL: 075-771-1191 (火水木金10:00～16:00)

MAIL: kansai-info@gakushikai.or.jp

告知 学士会主催



若手茶話会 (ドカフェ・読書会・ミニプレゼン会)

[形態] オンライン
[参加費] 無料

2023年3月25日(土)・4月23日(日)

参加者を45歳以下の若手会員に限定した交流会「ドカフェ」「読書会」「ランチ会」や、同世代のメンバーがプレゼンターとして知識を披露する「ミニプレゼン会」を開催しています。

詳細は、右記QRコードまたは事務局まで。

TEL: 03-3292-5932 (平日9:00～17:00)

MAIL: doukoukai@gakushikai.or.jp





「国立工芸館館長が解説する 見学ツアー」開催報告

[場 所] 国立工芸館

2022年11月26日(土) 14:00~15:30

北陸地方初開催となるイベントを、石川県金沢市の国立工芸館において開催しました。明治後期に建てられた木造の旧陸軍施設を移築・活用した建物や、高さ3mを超える陶器オブジェを鑑賞した後は、通常非公開の部屋に特別に入れて頂き、唐澤昌宏館長直々の所蔵作品解説を堪能しました。



「令和4年秋期講演会」開催報告

[場 所] 学士会館

2022年11月30日(水) 19:00~20:30

前中国大使の横井裕氏を講師にお迎えし、ハイブリッド形式で講演会を開催しました。前月には、中国共産党第20回党大会が開催されたこともあり、講演会終了後も活発な質疑応答が展開されました。講演録は、5月発行の『學士會會報』960号に掲載予定です。



「新年祝賀会 2023」開催報告

[場 所] 学士会館

2023年1月5日(木) 12:30~14:45

樺山紘一理事長による新年挨拶、「学会村雨会」世話人代表の米澤賢一会員による謡曲「友」に引き続いて行われた講演は、東京六大学初の女性総長を務めた田中優子氏が登壇し、満席の会場を沸かせました。講演録は、5月発行の『學士會會報』960号に掲載予定です。



樺山理事長による乾杯



米澤会員の謡曲



講師の田中優子氏

学士会 Web名簿閲覧システムのご利用の手引き

学士会

検索

<https://www.gakushikai.or.jp/>から『Web名簿閲覧システム』に移動して、配布済みのユーザーID/パスワードでログインしてください。

① 会員向けメニュー「Web名簿閲覧システム」をクリック



② 「ユーザーID／パスワード」を入力後、ログインをクリックしてください。

初回ログイン時には、メールアドレスと生年月日の登録が必要になります。

- ✓ ログイン後、ユーザーID／パスワードは自由に変更できます。
- ✓ 万一、変更したパスワードを忘れてしまった場合は、登録済のメールアドレスと生年月日で即時に再発行を受けることができます。

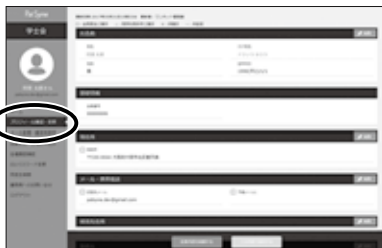


- ✓ セキュリティはシステム管理者にて十分に守られますが、各会員におかれましても、ご自身のID／パスワードは確実に保管していただきますようお願いいたします。

③ Web名簿閲覧システムには主に以下のような機能があります。

- ✓ ご自身の登録情報の確認と変更（プロフィール確認・変更）
- ✓ 学士会会員の検索・閲覧（Web版氏名録）
学士会会員の情報のうち、開示可とされたものを検索・閲覧することができます。

④ プロフィール確認と変更



（編集画面）

- 左メニュー「プロフィール確認・変更」からご自身のご登録状況を確認できます。
- 住所、勤務先などの情報はご自身でご変更いただけますようお願いいたします。
- 登録情報を会員にどの程度開示して良いか、ご自分で設定してください。「開示」「非開示」の設定ができます。

⑤ Web版氏名録の閲覧

左メニュー「会員検索」より、卒業大学・卒業・修了年、氏名、住所、勤務先等を検索し、本人が開示を許可した情報を閲覧できます。



スマートフォンからも
ご利用いただけます。



<https://member.gakushikai.or.jp/e-gakushikai/>

ユーザーID／パスワードが不明な方は、学士会事務局 (member@gakushikai.or.jp) まで、お問い合わせください。



七大学生協 書籍ランキング BEST 5

期間：2023年1月1日～2023年1月31日

北海道大学生協 書籍部 Clark

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 聞く技術 聞いてもらう技術	東畑開人	筑摩書房
	2 ウクライナ戦争	小泉悠	筑摩書房
	3 田中耕太郎 闘う司法の確立者、世界法の探究者	牧原出	中央公論新社
	4 ゼロからの『資本論』	斎藤幸平	NHK 出版
	5 ルポ アメリカの核戦力 「核なき世界」はなぜ実現しないのか	渡辺丘	岩波書店
一般書	1 日本のオルターナティブ	藤田正一	銀の鈴社
	2 残照	田中芳樹	祥伝社
	3 夏目漱石「こころ」をどう読むか	石原千秋（責任編集）	河出書房新社
	4 おばあちゃんは猫でテーブルを拭きながら言った	金井真紀	岩波書店
	5 戦争と平和 ある観察	中井久夫	人文書院

東北大学生協 書籍部 文系店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 歴史学のトリセツ 歴史の見方が変わるとき	小田中直樹	筑摩書房
	2 大東亜共栄圏 帝国日本のアジア支配構想	安達宏昭	中央公論新社
	3 奈良時代 律令国家の黄金期と熾烈な権力闘争	木本好信	中央公論新社
	4 不倫 実証分析が示す全貌	五十嵐彰、迫田さやか	中央公論新社
	5 〈個〉の誕生 キリスト教教理をつくった人びと	坂口ふみ	岩波書店
一般書	1 力と交換様式	柄谷行人	岩波書店
	2 歴史学の作法	池上俊一	東京大学出版会
	3 荒地の家族	佐藤厚志	新潮社
	4 知識とは何だろうか 認識論入門	ダンカン・プリチャード（著）、笠木雅史（訳）	勁草書房
	5 都市社会学・入門	松本康（編）	有斐閣

東京大学生協 本郷書籍部

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 ゼロからの『資本論』	斎藤幸平	NHK 出版
	2 〈個〉の誕生 キリスト教教理をつくった人びと	坂口ふみ	岩波書店
	3 暇と退屈の倫理学	國分功一郎	新潮社
	4 ウクライナ戦争	小泉悠	筑摩書房
	5 世界インフレの謎	渡辺努	講談社
一般書	1 最適輸送の理論とアルゴリズム	佐藤竜馬	講談社
	2 歴史学の作法	池上俊一	東京大学出版会
	3 調べる技術 国会図書館秘伝のレファレンス・チップス	小林昌樹	皓星社
	4 アカデミック・フリーズバンク そのまま使える！構文200・文例1900	ジョン・モリー（著）、高橋さきの（訳）、国枝哲夫（監修）	講談社
	5 東大に名探偵はいない	市川憂人、伊与原新、新川帆立、辻堂ゆめ、結城真一郎、浅野皓生	KADOKAWA

名古屋大学生協 書籍部 BOOKS フロンテ

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 暇と退屈の倫理学	國分功一郎	新潮社
	2 アインシュタイン 一般相対性理論	小玉英雄 (編訳・解説)	岩波書店
	3 傲慢と善良	辻村深月	朝日新聞出版
	4 ゼロからの『資本論』	斎藤幸平	NHK 出版
	5 なぜ理系に女性が少ないのか	横山広美	幻冬舎
一般書	1 ゆらぐ系の熱力学 非平衡統計力学の発展	齊藤圭司	サイエンス社
	2 グリーン・タオの定理	関真一郎	朝倉書店
	3 実験医学別冊 論文図表を読む作法	牛島俊和、中山敬一 (編)	羊土社
	4 最適輸送の理論とアルゴリズム	佐藤竜馬	講談社
	5 運動脳	アンデシュ・ハンセン (著)、御船由美子 (訳)	サンマーク出版

京都大学生協 BOOK センタールネ

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 ウクライナ戦争	小泉悠	筑摩書房
	2 ゼロからの『資本論』	斎藤幸平	NHK 出版
	3 暇と退屈の倫理学	國分功一郎	新潮社
	4 22世紀の民主主義	成田悠輔	SBクリエイティブ
	5 現代思想入門	千葉雅也	講談社
一般書	1 ゆらぐ系の熱力学 非平衡統計力学の発展	齊藤圭司	サイエンス社
	2 行列解析から学ぶ 量子情報の数理	日合文雄	サイエンス社
	3 最適輸送の理論とアルゴリズム	佐藤竜馬	講談社
	4 スピノザ全集 第三巻エチカ	上野修、鈴木泉 (編)	岩波書店
	5 グリーン・タオの定理	関真一郎	朝倉書店

大阪大学生協 書籍部 豊中店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 田中耕太郎 闘う司法の確立者、世界法の探求者	牧原出	中央公論新社
	2 サラゴサ手稿 下	ヤン・ポトツキ (著)、畑浩一郎 (訳)	岩波書店
	3 アインシュタイン 一般相対性理論	小玉英雄 (編訳・解説)	岩波書店
	4 〈個〉の誕生 キリスト教教理をつくった人びと	坂口ふみ	岩波書店
	5 ナチズムの美学 キッチュと死についての考察	ゾール・フリードレンダー (著)、田中正人 (訳)	筑摩書房
一般書	1 アカデミック・フレーズバンク そのまま使える! 構文200・文例1900	ジョン・モリー (著)、高橋さきの (訳)、國枝哲夫 (監修)	講談社
	2 EBPM エビデンスに基づく政策形成の導入と実践	大竹文雄、内山融、小林庸平 (編著)	日経 BP
	3 民主主義の経済学 社会変革のための思考法	北村周平	日経 BP
	4 歴史学の作法	池上俊一	東京大学出版会
	5 行政救済法	芝池義一	有斐閣

九州大学生協中央図書館店+皎皎舎店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 スマホ脳	アンデシュ・ハンセン (著)、久山葉子 (訳)	新潮社
	2 傲慢と善良	辻村深月	朝日新聞出版
	3 数学の影絵	吉田洋一	筑摩書房
	4 マルクス・アウレリウス 『自省録』のローマ帝国	南川高志	岩波書店
	5 ゼロからの『資本論』	斎藤幸平	NHK 出版
一般書	1 TOEIC® L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ	TEX 加藤	朝日新聞出版
	2 公式 TOEIC® Listening & Reading 問題集 9	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会
	3 歴史学の作法	池上俊一	東京大学出版会
	4 最適化アルゴリズム	Mykel J. Kochenderfer、Tim A. Wheeler (著)、岸本祥吾ほか (訳)	共立出版
	5 ゆらぐ系の熱力学 非平衡統計力学の発展	齊藤圭司	サイエンス社

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が「新型インフルエンザ等感染症」から「5類」になるようだ。5類にはインフルエンザ、風疹、AIDSなどが含まれる。何が違うかという、隔離・入院勧告・就業制限がなくなる。もはや感染した人も珍しくないのでそうだろうと思う。

3週間ほど前に5回目のBA.4-5対応型のワクチンを接種した。1〜3回目はほぼ何もなく、4回目は38度の熱が出た。5回目の接種翌日は熱も上らず、いつもより少し筋肉痛がある程度だった。問題は翌々日からで、せっかく長い間整体に通ってようやく良くなった肩や首の凝り・頭痛がぶり返した。その後も過去にかかった病気の軽い症状が次々と現れた。一番つらかったのは思考力が低下し頭がぼんやりして、「なんかおかしいよ」と言われたことだ。幸い2週間ほどで快方に向かったが、ワクチン前の体調が数十年ぶりによかったので言葉が見つからないほど落ち込んでいる。
(編集委員：佐藤千恵子)

先日、午餐会で講演「小惑星リュウグウの声に耳をすませて」を聴いた。講師は橘省吾教授。はやぶさ2は2014年12月に打ち上げられ、2018年夏にリュウグウに到着。試料を採取し2020年に帰還した。行きに3年、帰りに1年かけてミッションを果たしたJAXAの宇宙・航空技術にまず感嘆した。

分析の結果、リュウグウは炭素質隕石、特にCIコンドライトと呼ばれるイヴナ型炭素質隕石だと分かった。太陽系の誕生から500万年後にこの鉱物は沈殿。一方、地球の誕生は1,500万年後だから、リュウグウはそれより古い太陽系の初期にできた惑星である。

地球が誕生した46億年前から25億5,000万年前までを始世代、5億7,500万年前までを原生代、2億4,700万年前までを古生代のカンブリア紀と呼ぶ。私は地質学を専攻したが、後にスウェーデンで仕事をし、バルト楯状地に残る古生層やプレカンブリアンの岩盤に出会った。リュウグウは人類が入手したどの天然試料より分化していない最も始原始的な特徴を持つ。今後の更なる結果報告が楽しみだ。
(編集委員：田村恵美子)

ChatGPTというAIが話題になっている。これはチューリングテスト(ある機械が人間かどうかを判断するテスト)を完全に突破しそうなレベルで会話応答を行える、というAIのWebサービスです。色々な指示を自然な言語でコンピューターにお願いすることで、世界中の情報をもとに自動である程度の回答がもらえたりします。

正確性についてはかなり問題がありそうです(平気で嘘をつく秘書、という形容がなされる)が、使い所によっては非常に大きな生産性向上を見込めそうにも思います。私が思うに例えば、大雑把に傾向を知りたいとか、正確な説明が難しいものを徐々に絞り込むとか、新しいアイデア(自分の思ってもいないこと)を聞いてみるとか、占いの信じてみるとか、沢山の可能性がありそうです。シンギュラリティも少し垣間見られるようなものなので是非皆さん試してみてください。

(編集委員：吉積礼敬)

NU7 第46号

2023年 3月1日 発行

編集兼
発行人

大垣 眞一郎

発行元

一般社団法人学士会

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町3-28

TEL：03-3292-5931

FAX：03-3292-2779

HP：<https://www.gakushikai.or.jp/>

MAIL：koho@gakushikai.or.jp

印刷所

大日本法令印刷株式会社

正餐プラン

～シェフからの贈りもの～

期間 2023年2月1日(水)～5月31日(水)

2時間フリードリンク付きでお得なコース料理プランです。
安心で安全な宴会場の個室でご利用いただけます。

〈プラン限定特典〉

お土産としてお一人様ワイン1本をご用意いたします。

●新型コロナウイルス感染症予防対策につきましては、政府や東京都さらに業界団体が発信するガイドラインを踏まえ、積極的に取り組んでおります。

西洋料理

お一人様 10,000円プラン

- ・トラウトサーモンサラダ 春野菜添え
- ・ジャガイモのポターージュ
- ・鰯のポワレ ハーブソース
- ・仔羊のロティ タイムの香り
- ・季節のデザート
- ・コーヒー

お一人様 12,000円プラン

- ・自家製スモークサーモン イクラ飾り
- ・グリーンピースのポターージュ
- ・真鯛のポワレ アメリカンソース
- ・国産牛フィレ肉のグリエ ポルトソース
- ・季節のデザート
- ・コーヒー

中国料理

お一人様 10,000円プラン

- ・冷菜盛り合わせ
- ・干し貝柱入り五目とろみスープ
- ・海老と旬野菜のあっさり炒め
- ・二種蒸し点心
- ・豚三枚肉のやわらか煮
- ・五目チャーハン
- ・本日のデザート

お一人様 12,000円プラン

- ・美味彩り冷菜
- ・生海苔入りフカヒレスープ
～おこげと共に～
- ・海老のチリソース
- ・国産牛肉と旬野菜のあっさり黒胡椒炒め
- ・切り身魚の甘酢ソース
- ・桜海老チャーハン
- ・本日のデザート

【フリードリンク内容】

スパークリングワイン(乾杯用)/ビール/ワイン(赤・白)/ソフトドリンク

※表示価格はすべて会場費・消費税・サービス料込みとなります。 ※会場の指定はできませんので、予めご了承ください。
※延長は30分につきお一人様1,000円頂戴致します。(状況により延長できない場合がございます。)
※ご利用は4名様より承ります。 ※出席人数でお申込みください。 ※開催日の2日前までにご人数の確定をお願い致します。
※食材の入荷状況等によりメニュー内容が変更になる場合がございます。

学士会館

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町3-28

ご予約・お問い合わせ

TEL 03-3292-5936

<https://www.gakushikaikan.co.jp/>





オープンエア（ピンホールカメラ、青写真）



バイク（ピンホールカメラ、ゼラチンシルバープリント）



蟻通神社（大阪・泉佐野市）本殿の板絵



蟻通神社の絵馬

脈々と、受け継がれる叡智。

GAKUSHIKAI UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION

学士会とは

学士会は旧帝大（北大・東北大・東大・名大・京大・阪大・九大）の卒業生・学生・教員約 4 万人からなる総合同窓団体です。学士会の発端は、明治 19（1886）年 4 月に開かれた東大初代総理・加藤弘之先生の謝恩会でした。会の参加者のあいだに、今後もこのような親睦の会を続けたいという気運が高まり、同年 7 月、学士会が創立されました。130 年以上の歴史を持つ学士会は、現在、七大戦特別協賛をはじめとした七大学への支援や七大学同窓団体との連携のほか、会員向けに様々なサービスを展開しています。

会員資格

七大学の卒業生
七大学の教職員
七大学の学生

※詳細は、学士会公式サイト「情報公開」の定款をご覧ください。
※学生の方は、学生会員への登録となります（会費無料）。

会費

入会金なし
年会費 4,000 円

※学士会事業年度は 4 月 1 日～翌 3 月 31 日。
※新卒限定の会費優待制度や会費一括納入の終身会員制度もあります。

——— 主な会員サービス ———



『學士會會報』刊行

『學士會會報』では、七大自身で各界を代表する方々の論考・寄稿文を掲載しています。明治 20（1887）年の創刊から現在まで、会員に愛されている会報誌です。



講演会・イベント

広く関心を集める現代的な話題から学術的な話題まで、知的好奇心を刺激する講演会を定期的に開催。会員間の交流が進むイベントも実施しています。



企業連携サービス

美術館やスポーツクラブ、「しがくのやど」宿泊施設、資格試験、引越し、家の新築・リフォームなど、幅広いライフイベントで利用できる会員優待をご用意しています。



学士会館 優待利用

文化財・学士会館での食事や婚礼、宿泊、婚活支援などを割引利用可。仕事に集中できるブースつき会員スペース「読書室」もあります（Wi-Fi 無料）。

入会に関するお問い合わせ

学士会 事務局
☎ 03(3292)5933

一般社団法人 学士会

入会のお手続き（随時受付）

学士会公式サイト
<https://www.gakushikai.or.jp/>

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町 3-28

